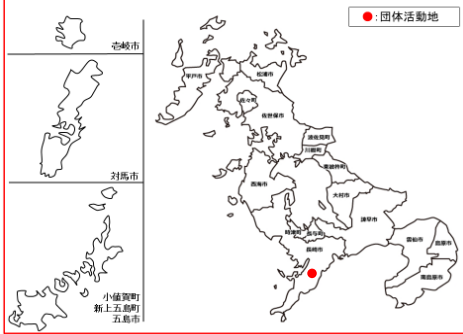


森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

団体名	放置竹林拡大防止PJT	【地区の概要・取組等】 活動開始・・・令和4年度(1期1年目)  活動地は個人消費のタケノコ堀りが行われていた竹林で、管理作業は少なくとも20年以上行われていません。代表の父名義の土地ですが、昔ながらの土地で広さがあるため、土地境界線が曖昧になっています。それに加えイノシシによる被害が増えておりタケノコの数も激減しています。放置竹林は動物の通り道、隠れ場所となり、管理された竹林と比べて保水力も弱く地すべり等の災害の原因にもなります。この活動を通して竹林整備の技術向上・保存・継承を行う事で全国的な放置竹林の解決に向けて継続的に竹林管理を行えるモデルケースづくり。また、タケノコ堀り・出荷や伐採した竹を用いてポークラス竹炭の生産・販売を行う事で、放置竹林を維持管理できる費用を捻出し、継続可能な活動にしていきます。
登録地域	長崎市三和町	
活動区域	長崎市鹿尾町	
構成員数	9名	



	地域環境保全タイプ		森林資源 利用タイプ	森林機能 強化タイプ	空間利用タイプ (H25～H26) 教育研修タイプ (H27～H30) 関係人口創出・維持タイプ (R3～)	資機材購入
	里山林保全	侵入竹除去 竹林整備				
	(ha)	(ha)	(ha)	(m)	(回)	(品目)
令和4年度	面積・回数・長さ	0.6ha				チェーンソー 1台
	延べ人数	59人(うち、一般1人)				
令和5年度	面積・回数・長さ	来年度 活動実施予定				
	延べ人数					
令和6年度	面積・回数・長さ					
	延べ人数					